

## 2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

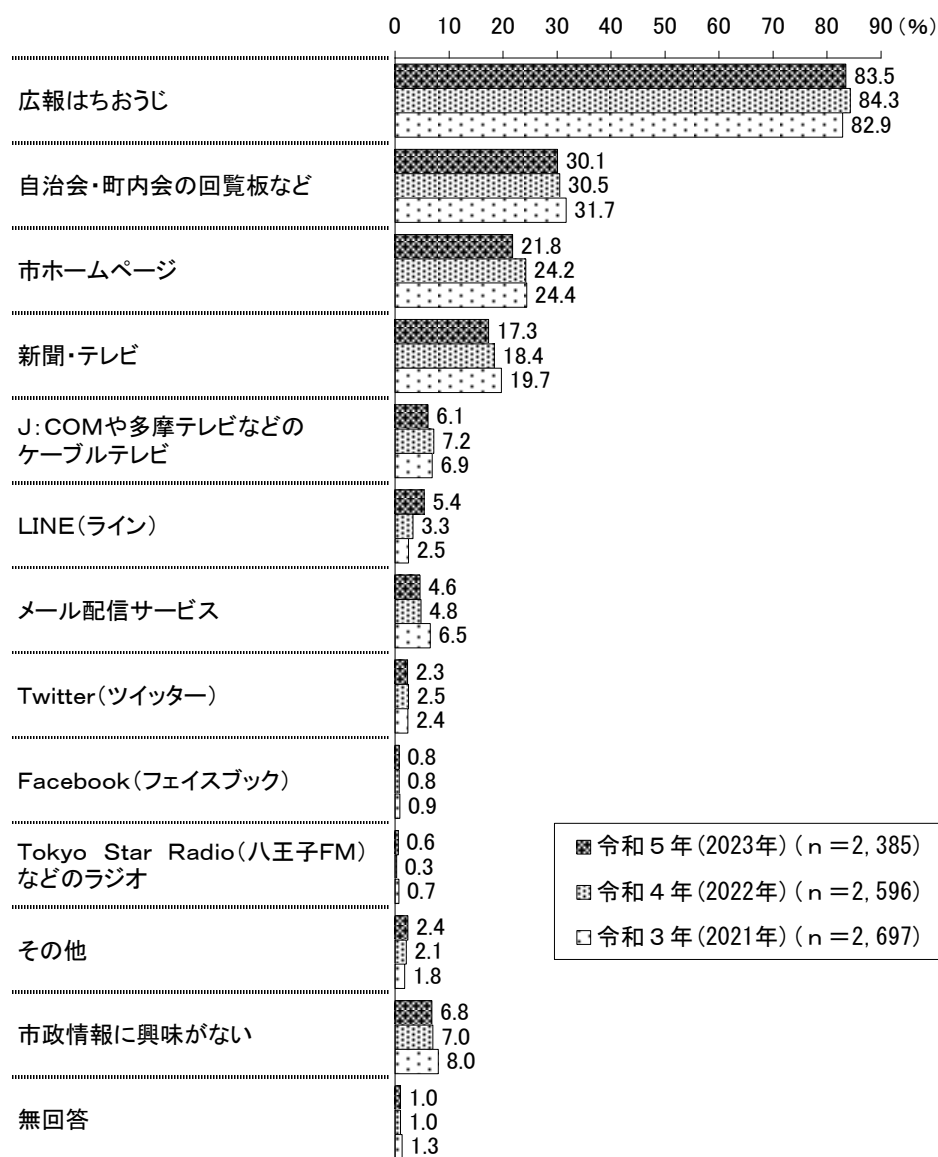
### (1) 市政情報の入手方法

◇「広報はちおうじ」が8割強

問9 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。

（〇はいくつでも）

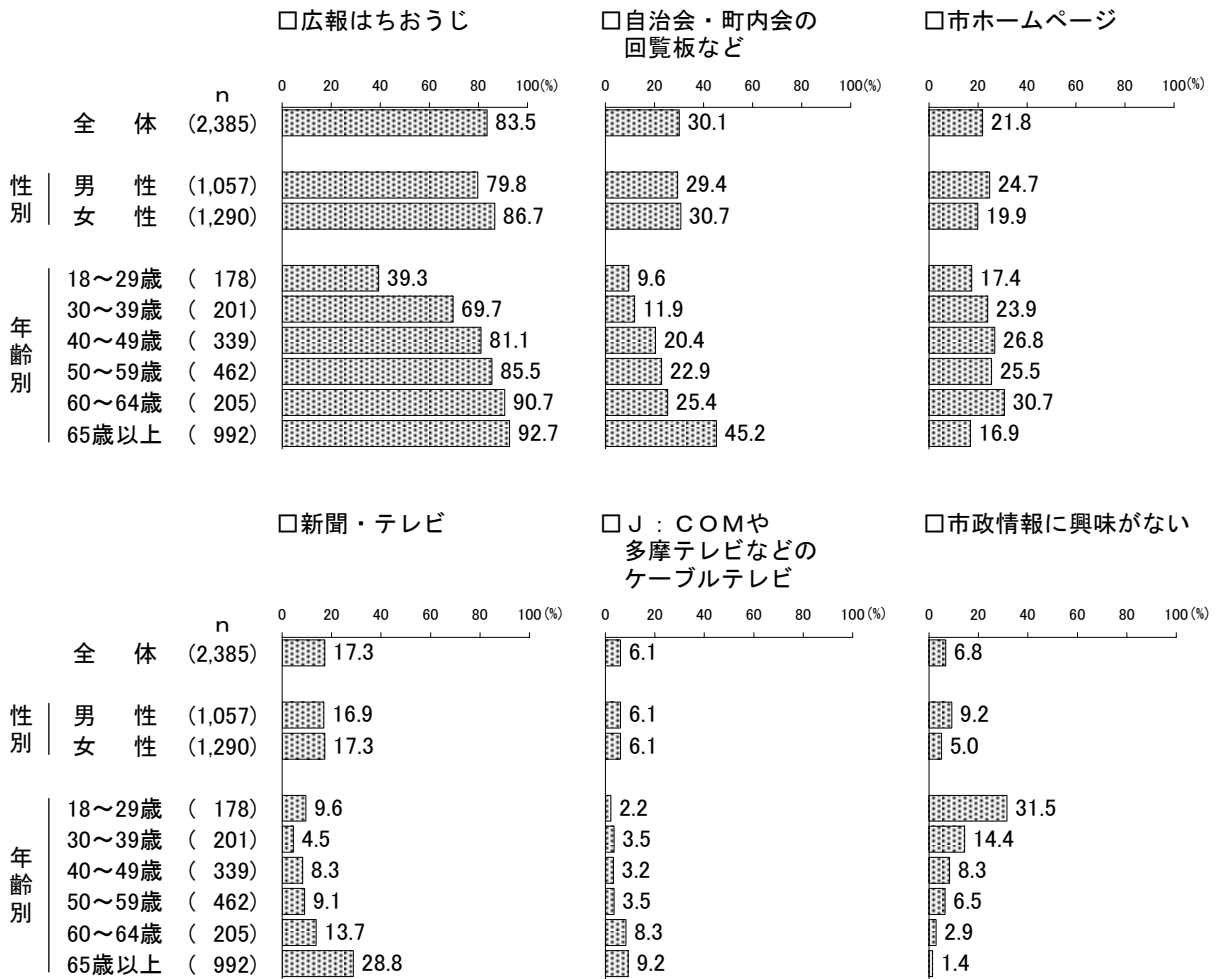
図2-1-1 市政情報の入手方法—全体、経年比較



市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」（83.5%）が8割強で最も多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板など」（30.1%）、「市ホームページ」（21.8%）、「新聞・テレビ」（17.3%）などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「LINE（ライン）」は令和4年（2022年）（3.3%）より2.1ポイント増加している。一方、「市ホームページ」は令和4年（2022年）（24.2%）より2.4ポイント減少している。（図2-1-1）

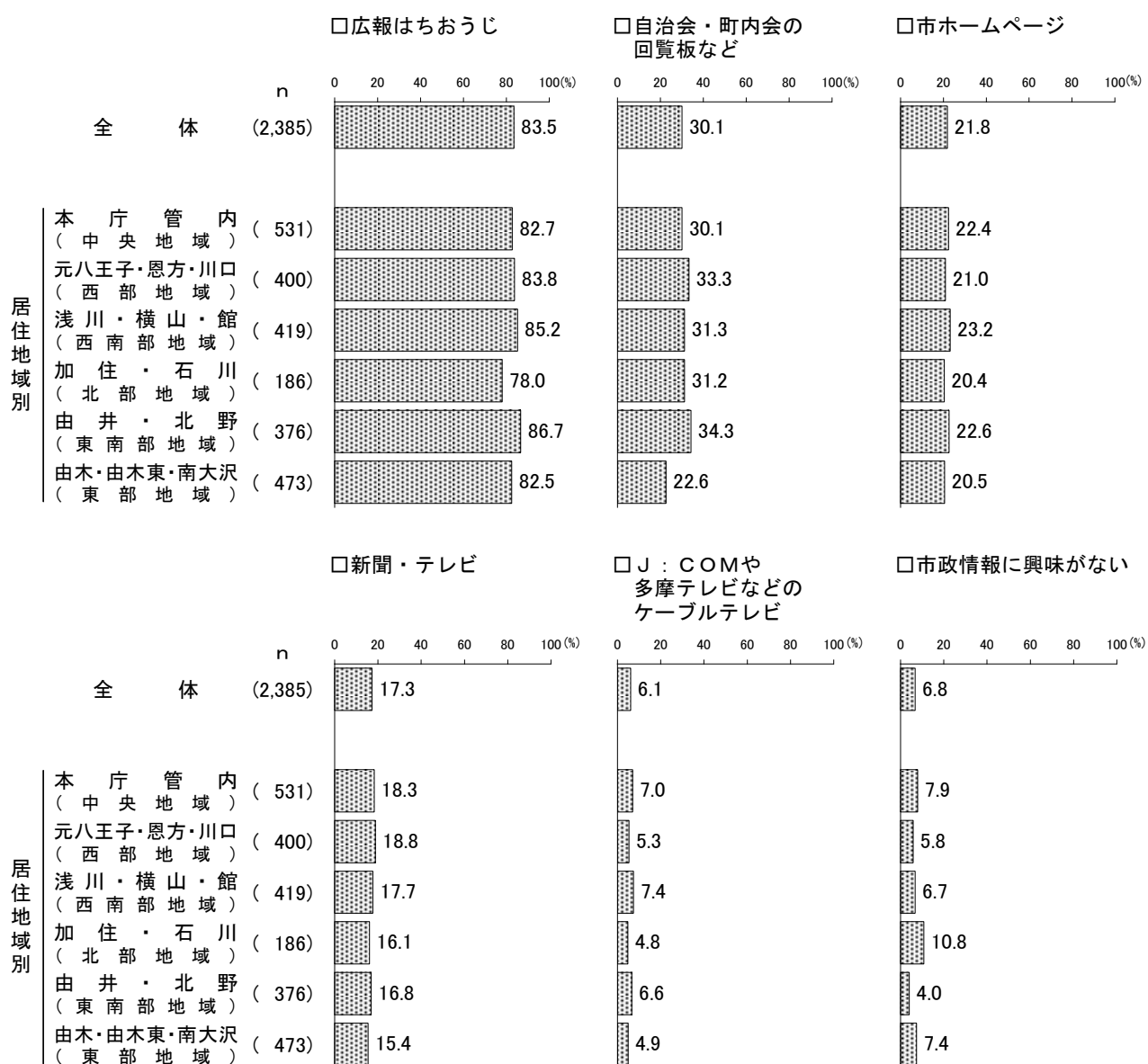
図2-1-2 市政情報の入手方法—性別、年齢別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



性別にみると、「広報はちおうじ」は女性（86.7%）が男性（79.8%）より6.9ポイント高くなっている。一方、「市ホームページ」は男性（24.7%）が女性（19.9%）より4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（92.7%）で9割強と多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（45.2%）で4割台半ばと多くなっている。「市ホームページ」は60～64歳（30.7%）で約3割と多くなっている。（図2-1-2）

図2-1-3 市政情報の入手方法－居住地域別（上位5位＋「市政情報に興味がない」）



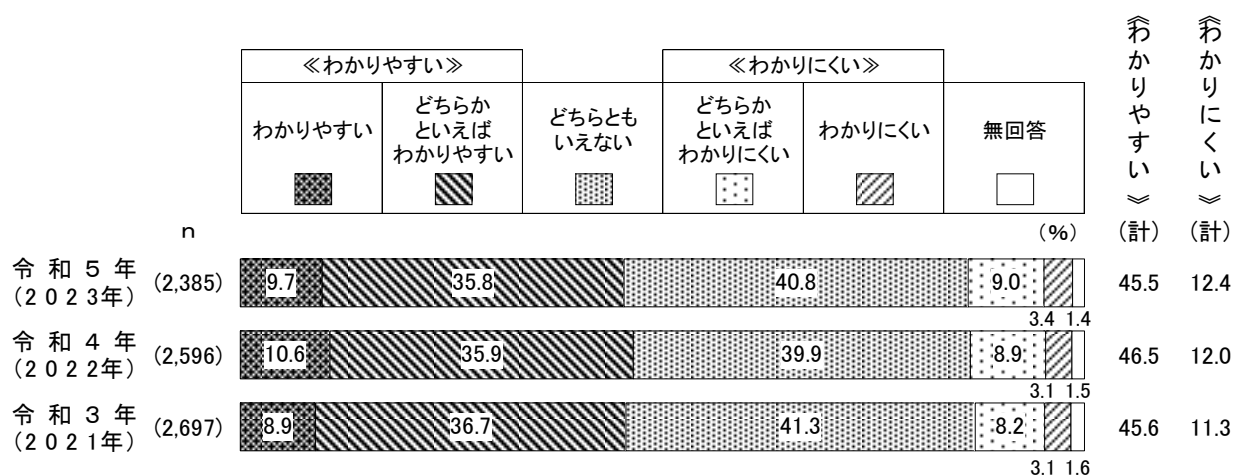
居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は由井・北野（東南部地域）（86.7%）で9割近くと多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は由井・北野（東南部地域）（34.3%）で3割台半ばと多くなっている。（図2-1-3）

## (2) 市政情報のわかりやすさ

◇《わかりやすい》が4割台半ば

問10 あなたは、市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

図2-2-1 市政情報のわかりやすさー全体、経年比較

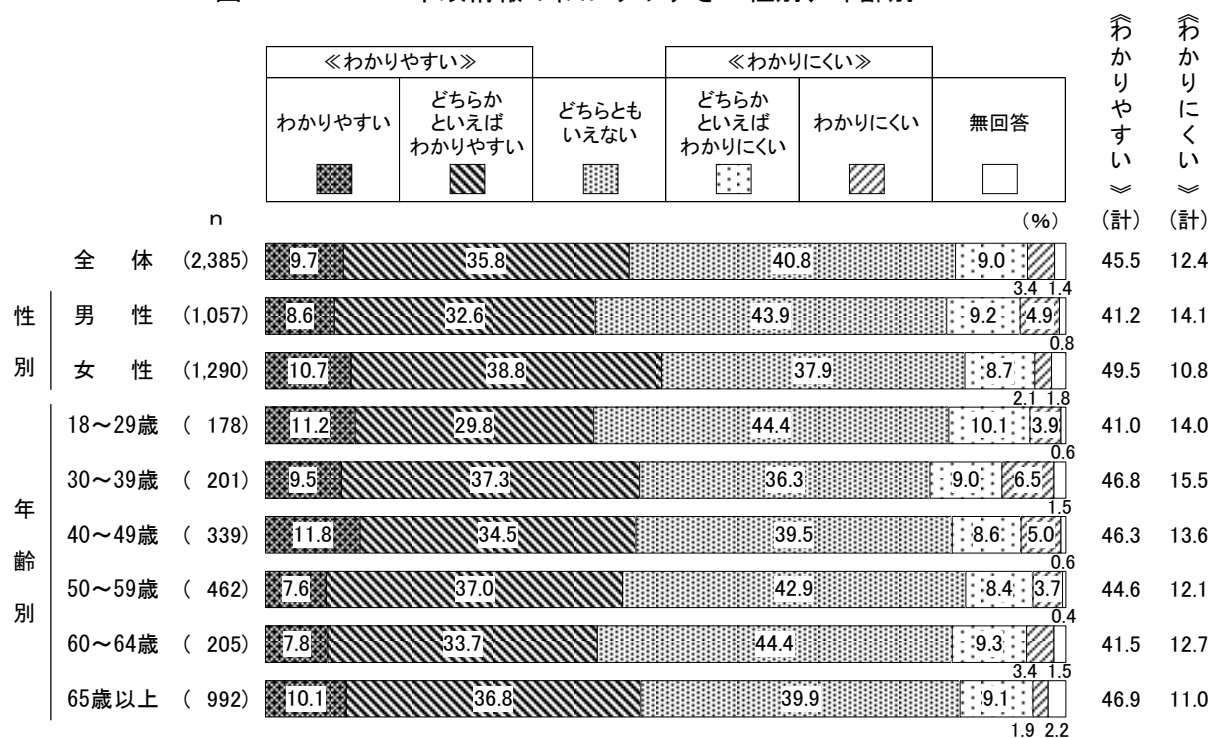


市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思うか聞いたところ、「わかりやすい」(9.7%)と「どちらかといえばわかりやすい」(35.8%)を合わせた《わかりやすい》(45.5%)は4割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばわかりにくい」(9.0%)と「わかりにくい」(3.4%)を合わせた《わかりにくい》(12.4%)は1割強となっている。また、「どちらともいえない」(40.8%)は約4割となっている。

前回までの調査と比較すると、令和4年(2022年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-2-1)

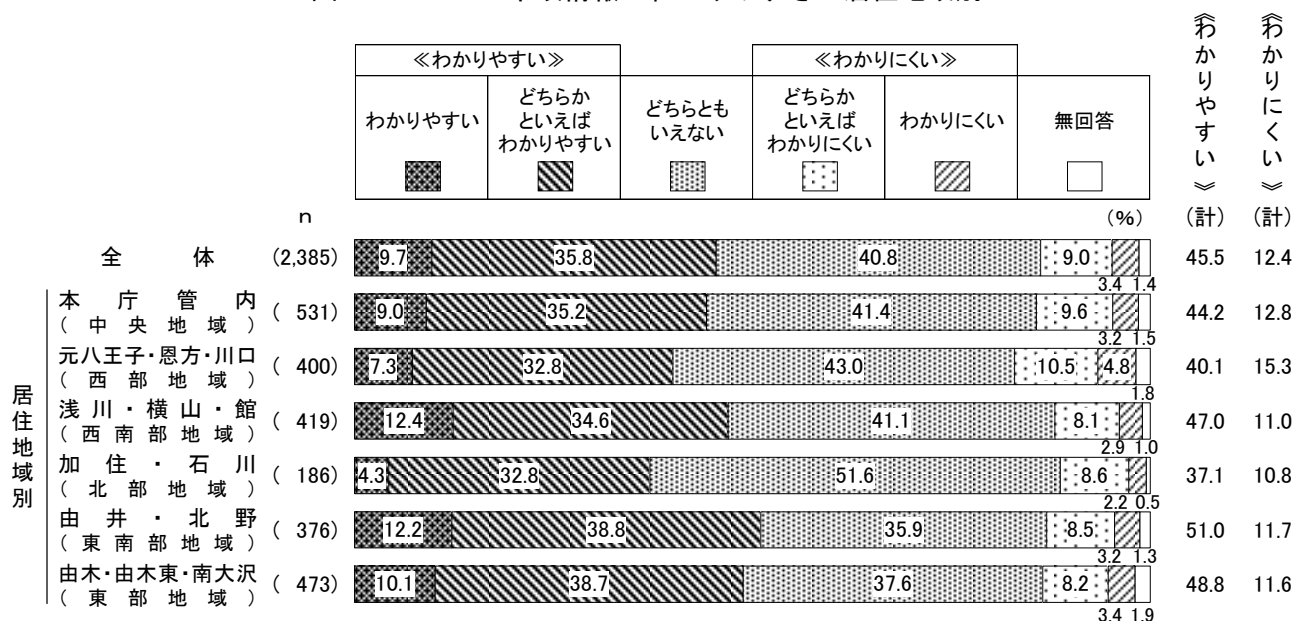
図2-2-2 市政情報のわかりやすさ－性別、年齢別



性別にみると、《わかりやすい》は女性（49.5%）が男性（41.2%）より8.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《わかりやすい》は30～39歳（46.8%）、40～49歳（46.3%）、65歳以上（46.9%）で5割近くと多くなっている。（図2-2-2）

図2-2-3 市政情報のわかりやすさ－居住地域別



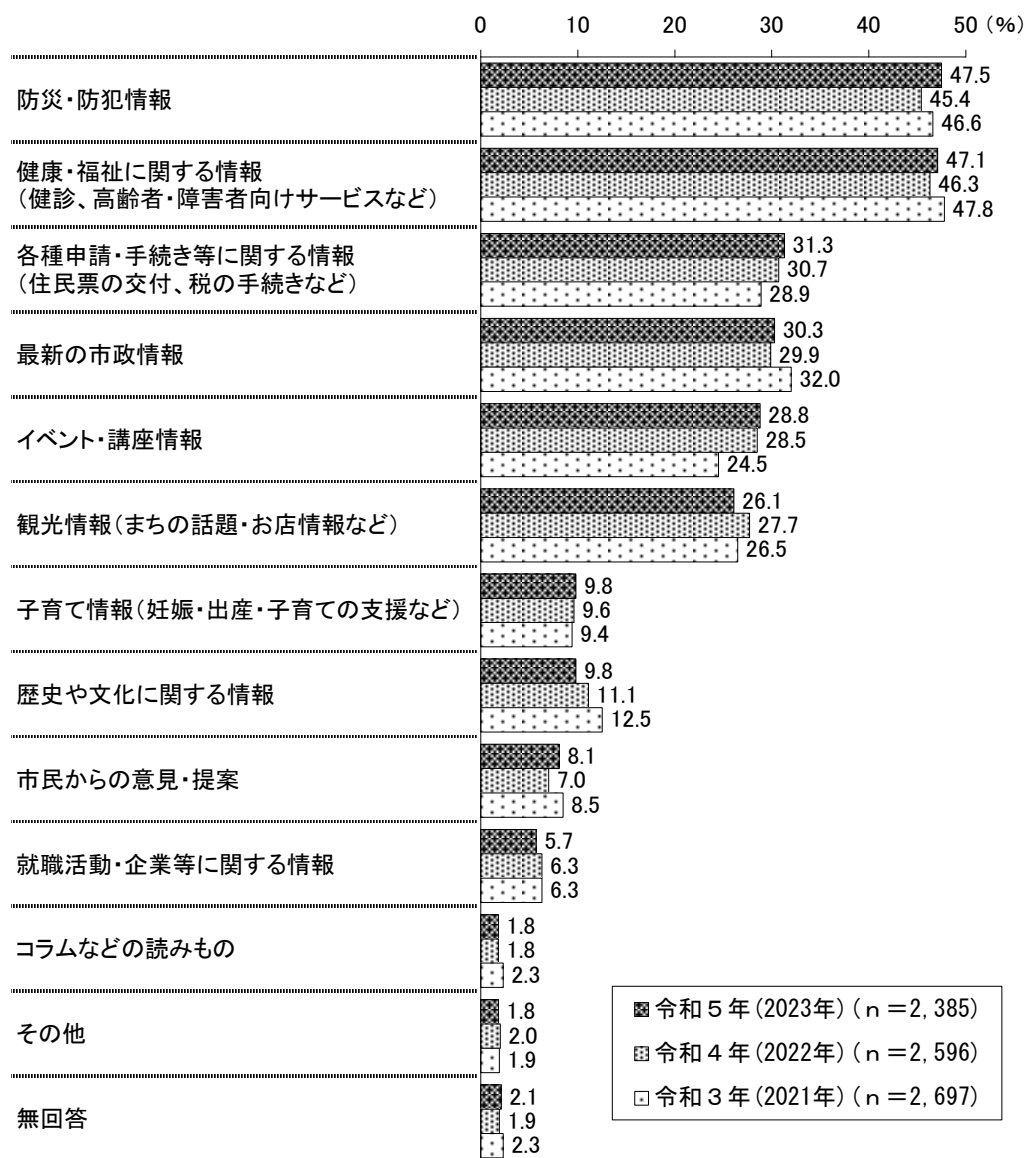
居住地域別にみると、《わかりやすい》は由井・北野（東南部地域）（51.0%）で5割強と多くなっている。（図2-2-3）

### (3) 関心のある情報や発信してほしい情報

◇「防災・防犯情報」と「健康・福祉に関する情報」がともに5割近く

問11 あなたが関心のある情報、または発信してほしい情報を教えてください。(〇は3つまで)

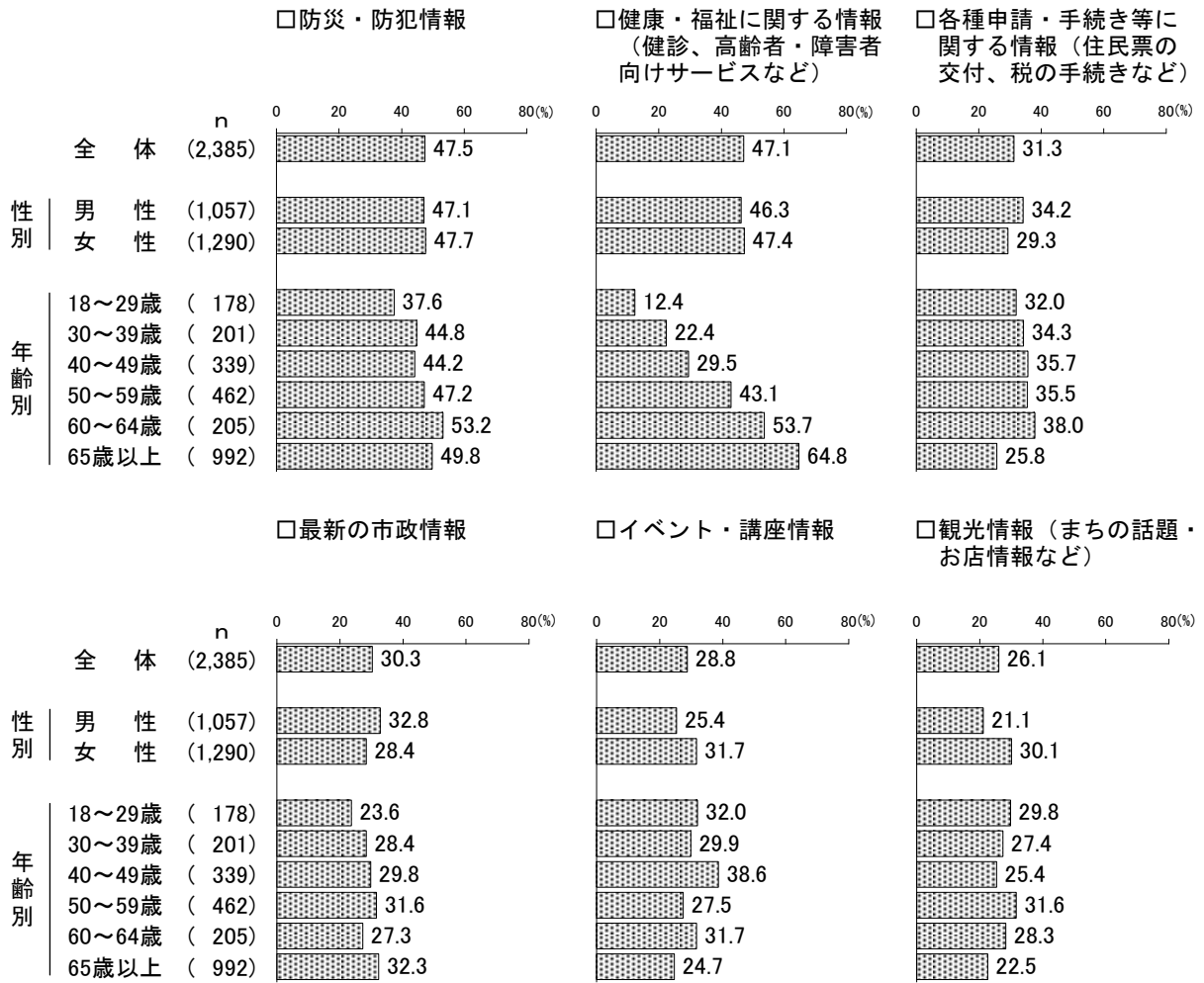
図2-3-1 関心のある情報や発信してほしい情報—全体、経年比較



関心のある情報、または発信してほしい情報を聞いたところ、「防災・防犯情報」(47.5%)と「健康・福祉に関する情報(健診、高齢者・障害者向けサービスなど)」(47.1%)がともに5割近くで多くなっている。次いで「各種申請・手続き等に関する情報(住民票の交付、税の手続きなど)」(31.3%)、「最新の市政情報」(30.3%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「防災・防犯情報」は令和4年(2022年)(45.4%)より2.1ポイント増加している。(図2-3-1)

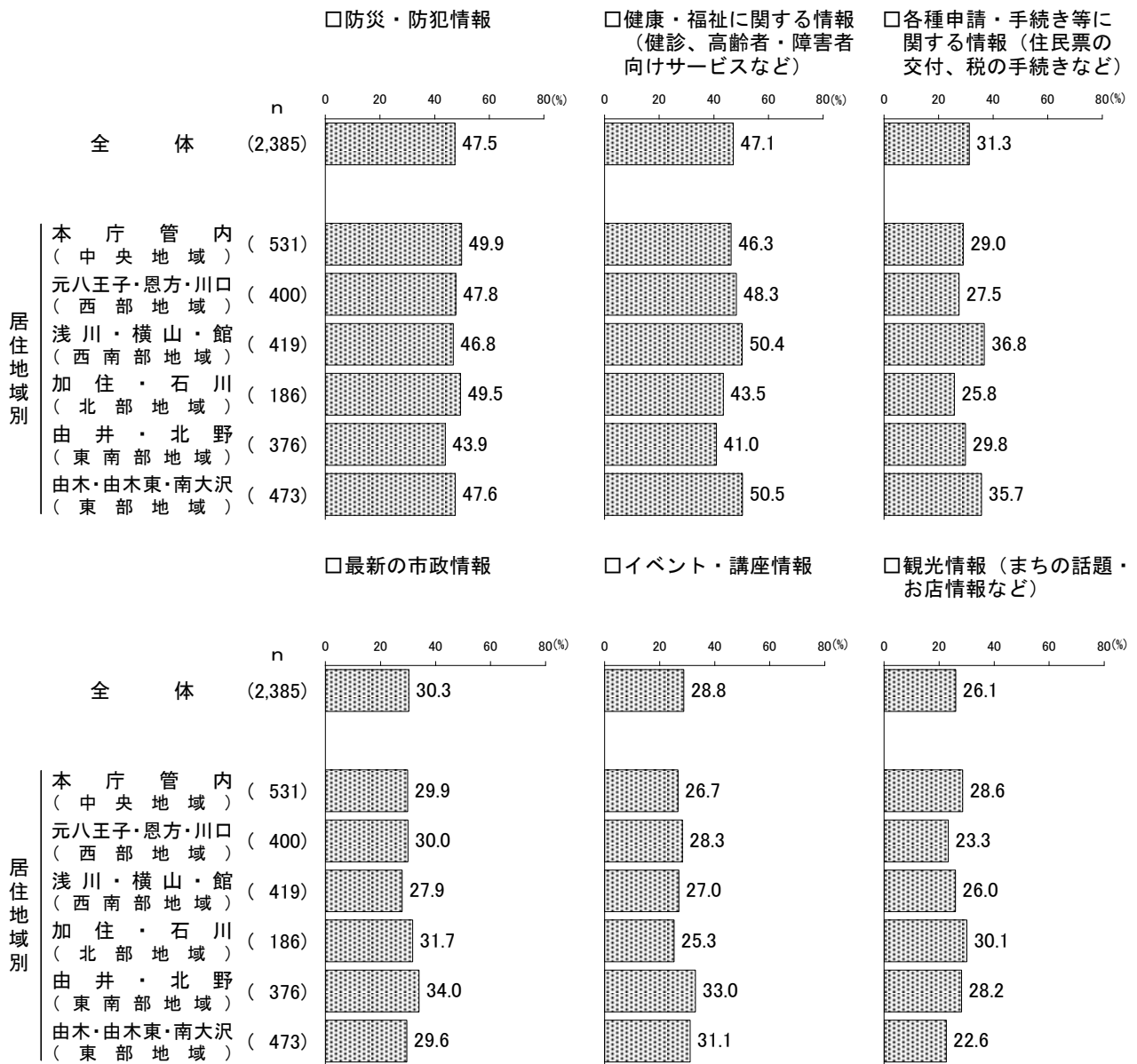
図2-3-2 関心のある情報や発信してほしい情報－性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「観光情報（まちの話題・お店情報など）」は女性（30.1%）が男性（21.1%）より9.0ポイント、「イベント・講座情報」は女性（31.7%）が男性（25.4%）より6.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「各種申請・手続き等に関する情報（住民票の交付、税の手続きなど）」は男性（34.2%）が女性（29.3%）より4.9ポイント、「最新の市政情報」は男性（32.8%）が女性（28.4%）より4.4ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「防災・防犯情報」は60～64歳（53.2%）で5割強と多くなっている。「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（64.8%）で6割台半ばと多くなっている。「イベント・講座情報」は40～49歳（38.6%）で4割近くと多くなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 関心のある情報や発信してほしい情報—居住地域別（上位6位）



居住地域別にみると、「防災・防犯情報」は本庁管内（中央地域）（49.9%）と加住・石川（北部地域）（49.5%）で5割弱と多くなっている。「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（50.5%）と浅川・横山・館（西南部地域）（50.4%）で約5割と多くなっている。「各種申請・手続き等に関する情報（住民票の交付、税の手続きなど）」は浅川・横山・館（西南部地域）（36.8%）で4割近くと多くなっている。

（図2-3-3）

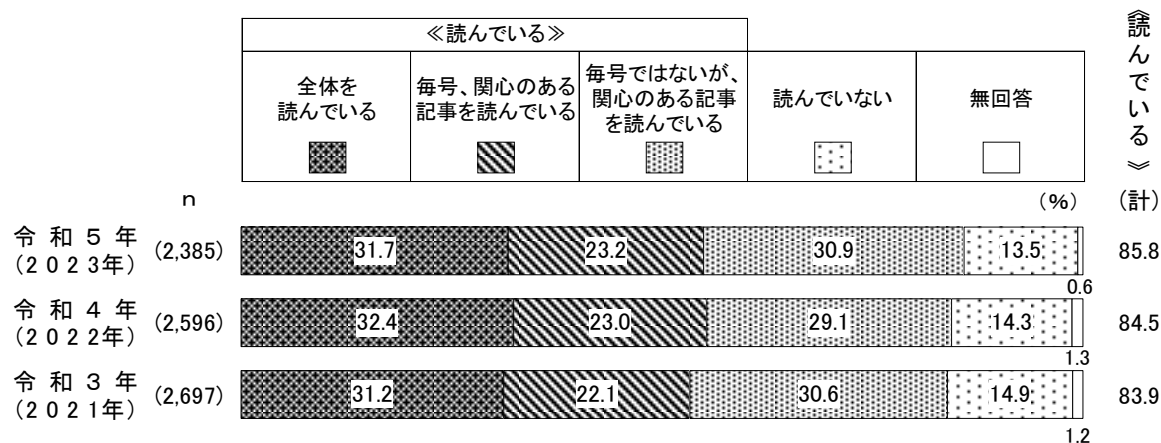


#### (4) 「広報はちおうじ」の利用状況

◇「読んでいます」が8割台半ば

問12 あなたは、「広報はちおうじ」を読んでいますか。(○は1つだけ)

図2-4-1 「広報はちおうじ」の利用状況—全体、経年比較

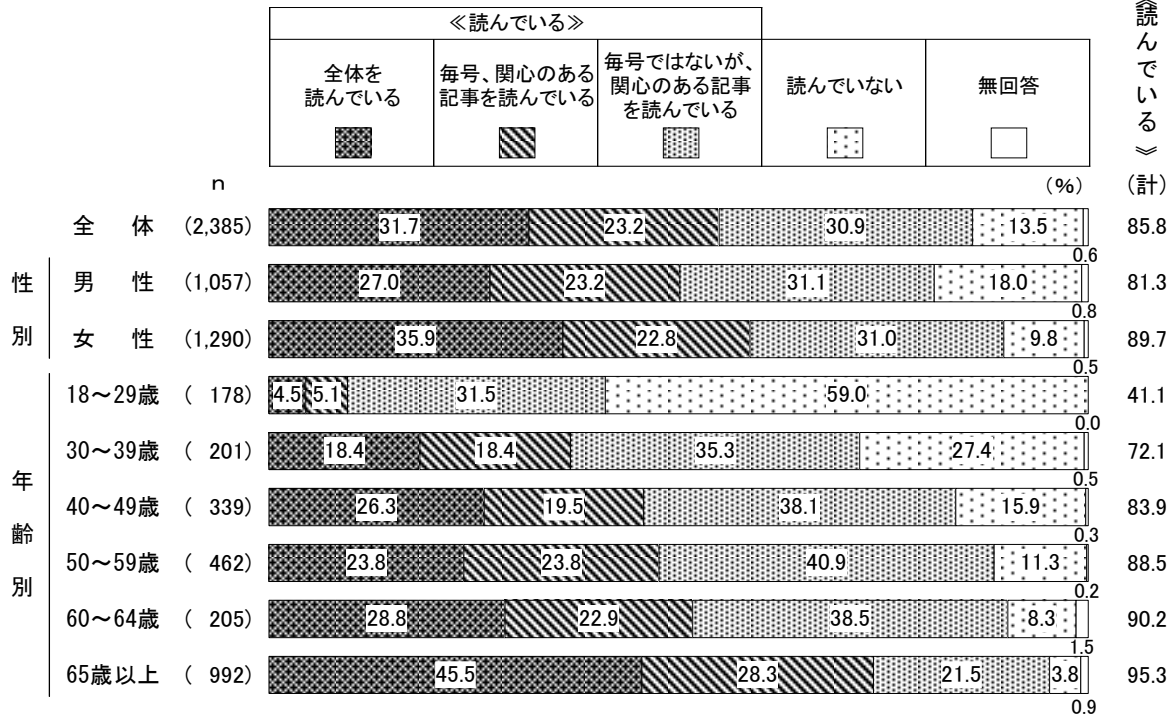


「広報はちおうじ」を読んでいるか聞いたところ、「全体を読んでいる」(31.7%)、「毎号、関心のある記事を読んでいる」(23.2%)、「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」(30.9%)の3つを合わせた「読んでいます」(85.8%)は8割台半ばとなっている。一方、「読んでいない」(13.5%)は1割強となっている。

前回までの調査と比較すると、令和4年(2022年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-4-1)

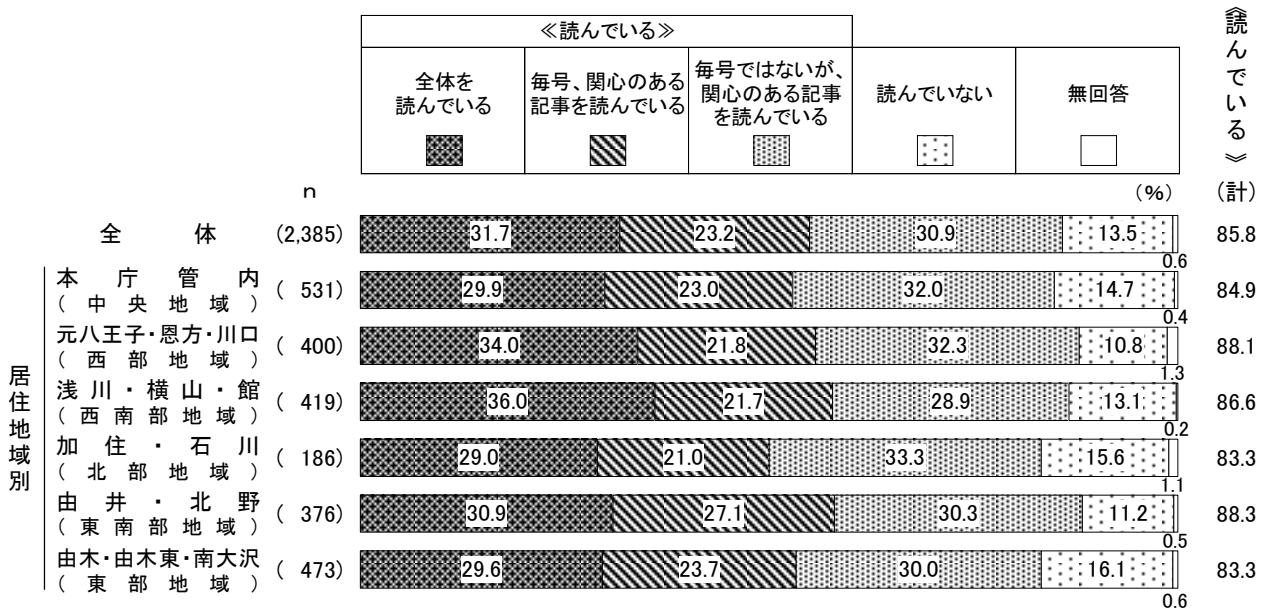
図2-4-2 「広報はちおうじ」の利用状況—性別、年齢別



性別にみると、《読んでいる》は女性（89.7%）が男性（81.3%）より8.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《読んでいる》は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（95.3%）で9割台半ばと多くなっている。（図2-4-2）

図2-4-3 「広報はちおうじ」の利用状況—居住地域別



居住地域別にみると、《読んでいる》は全ての居住地域で8割台と多くなっている。

(図2-4-3)

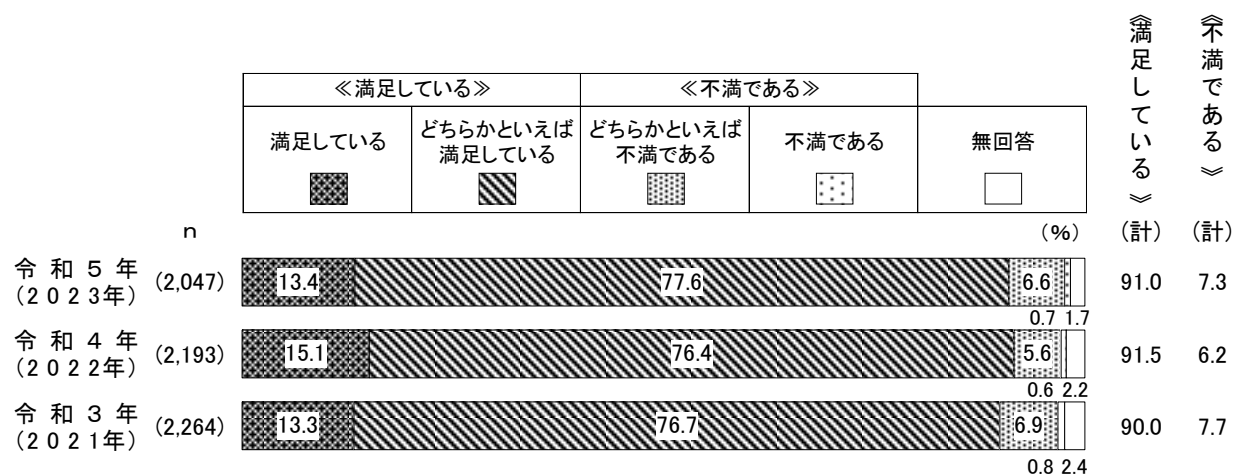
## (5) 「広報はちおうじ」の満足度

◇《満足している》が9割強

(問12で「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」とお答えの方へ)

問12-1 「広報はちおうじ」について、感想をお選びください。(○は1つだけ)

図2-5-1 「広報はちおうじ」の満足度-全体、経年比較

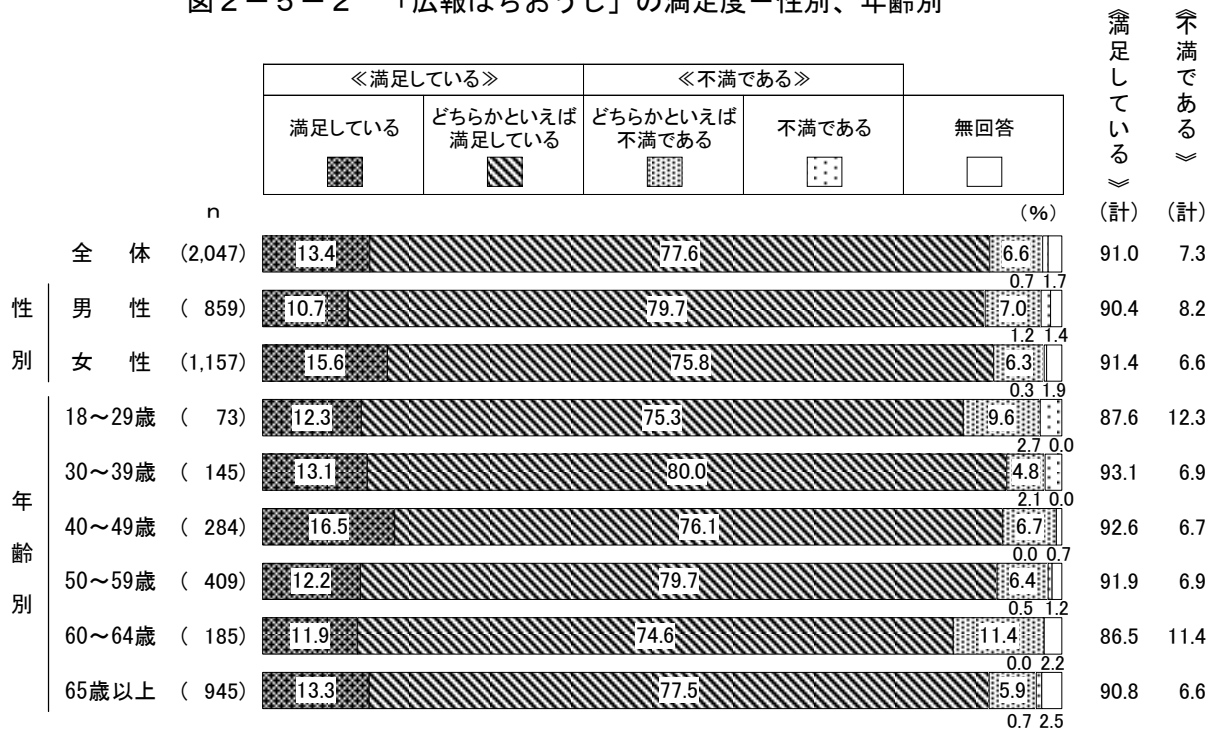


「広報はちおうじ」の利用状況で、「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」と回答した2,047人に、その感想を聞いたところ、「満足している」(13.4%)と「どちらかといえば満足している」(77.6%)を合わせた《満足している》(91.0%)は9割強となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(6.6%)と「不満である」(0.7%)を合わせた《不満である》(7.3%)は1割未満となっている。

前回までの調査と比較すると、令和4年(2022年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-5-1)

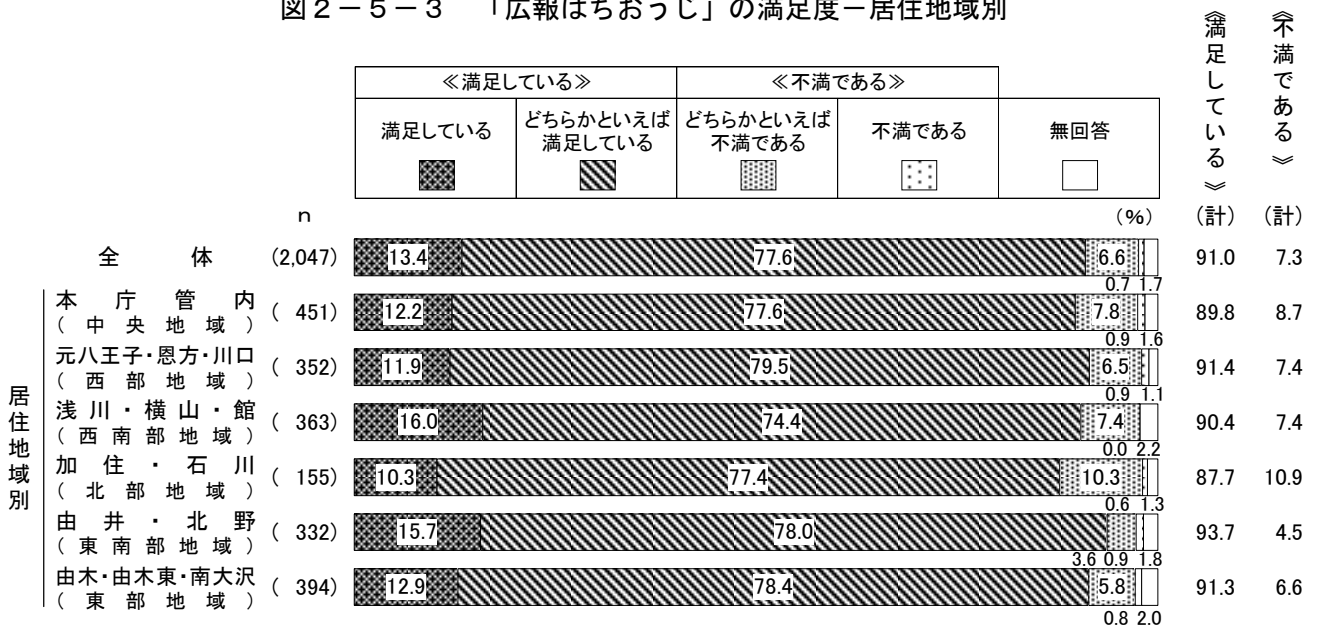
図2-5-2 「広報はちおうじ」の満足度—性別、年齢別



性別にみると、「満足している」は女性（15.6%）が男性（10.7%）より4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《満足している》は30~39歳（93.1%）、40~49歳（92.6%）、50~59歳（91.9%）で9割強と多くなっている。（図2-5-2）

図2-5-3 「広報はちおうじ」の満足度—居住地域別



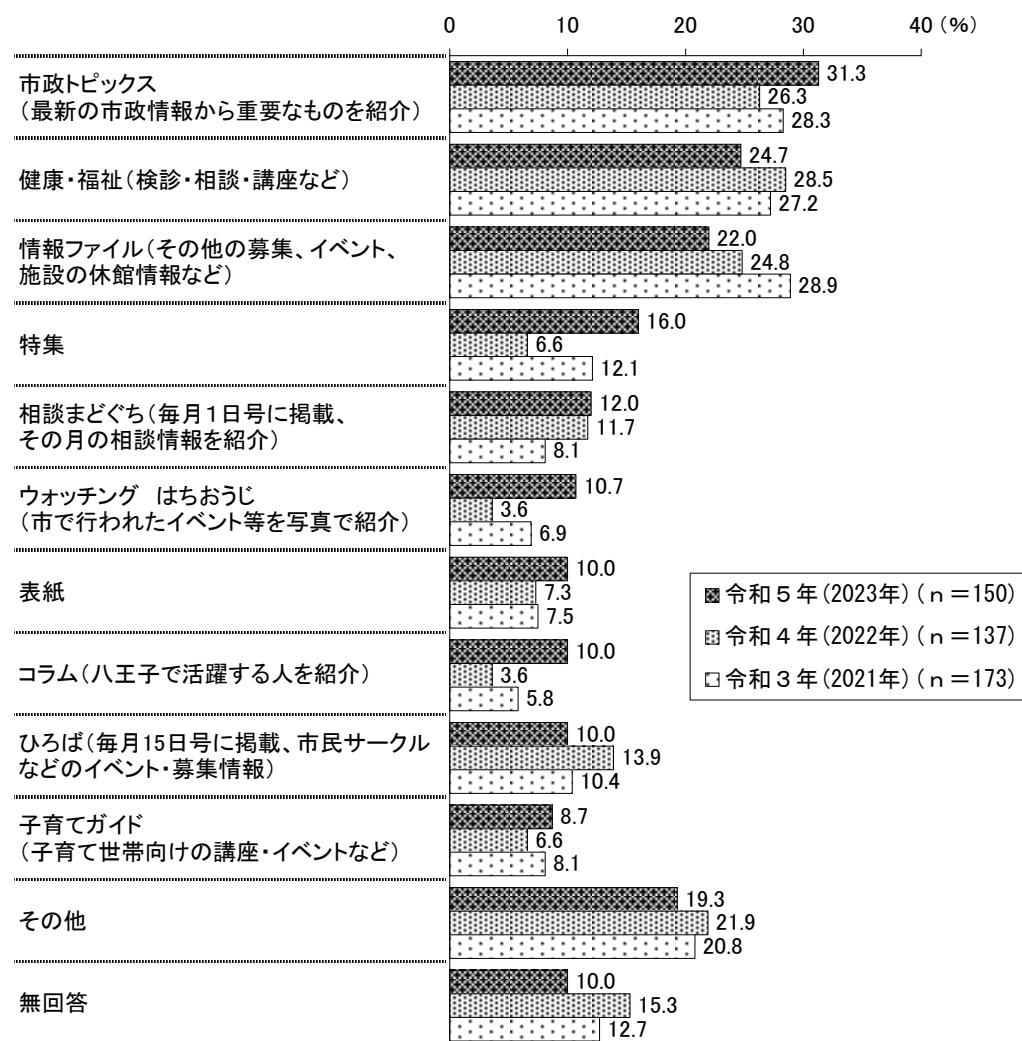
居住地域別にみると、《満足している》は由井・北野（東南部地域）（93.7%）、元八王子・恩方・川口（西部地域）（91.4%）、由木・由木東・南大沢（東部地域）（91.3%）で9割強と多くなっている。（図2-5-3）

## (6) 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー

◇「市政トピックス」が3割強

(問12-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)  
問12-1-1 不満であると特に感じるコーナーを教えてください。(〇は3つまで)

図2-6-1 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—全体、経年比較

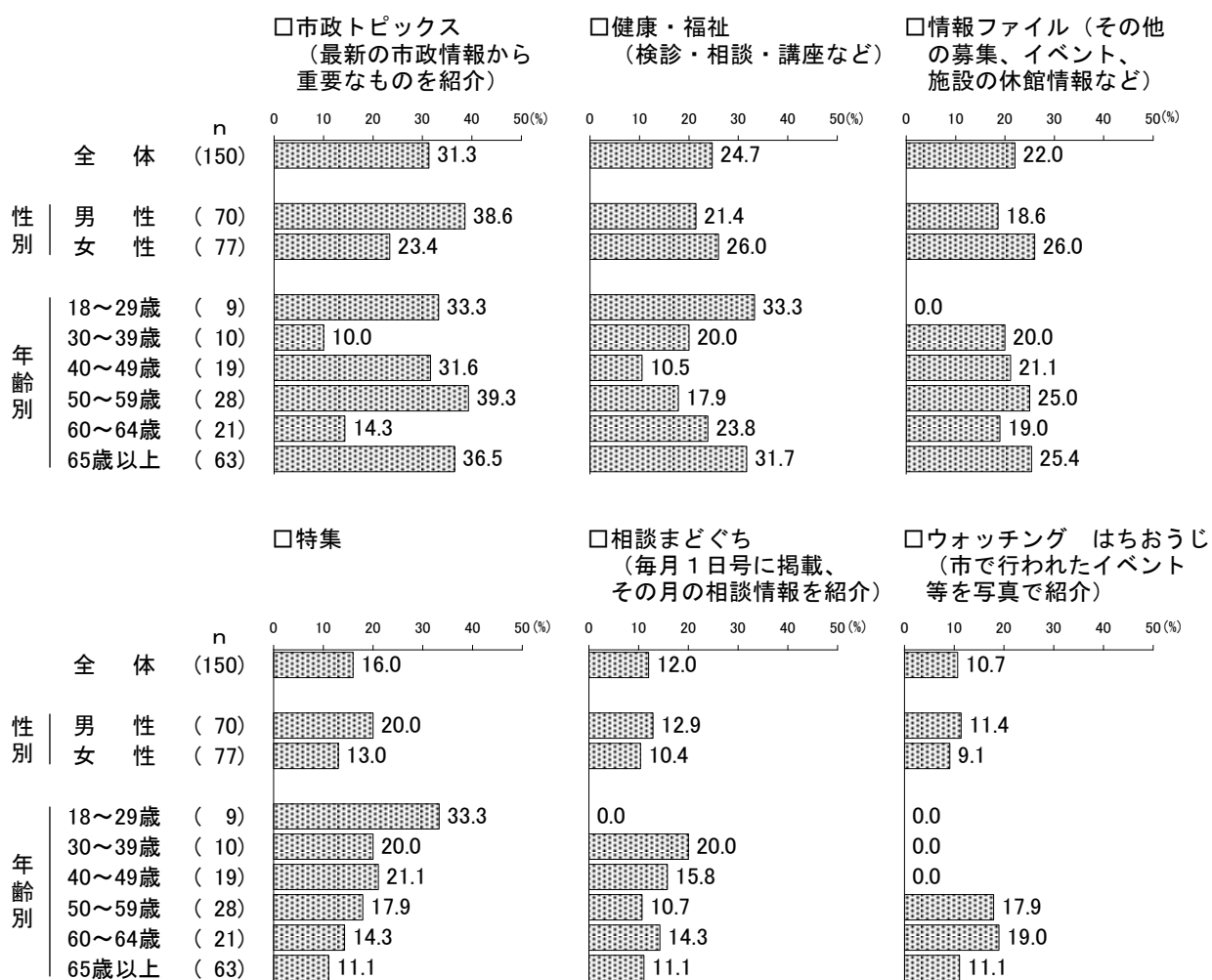


「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した150人に、特に不満を感じるコーナーを聞いたところ、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」(31.3%)が3割強で最も多くなっている。次いで「健康・福祉（検診・相談・講座など）」(24.7%)、「情報ファイル(その他の募集、イベント、施設の休館情報など)」(22.0%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「特集」は令和4年(2022年)(6.6%)より9.4ポイント、「ウォッチング はちおうじ(市で行われたイベント等を写真で紹介)」は令和4年(2022年)(3.6%)より7.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「ひろば(毎月15日号に掲載、市民サークルなどのイベント・募集情報)」は令和4年(2022年)(13.9%)より3.9ポイント減少している。

(図2-6-1)

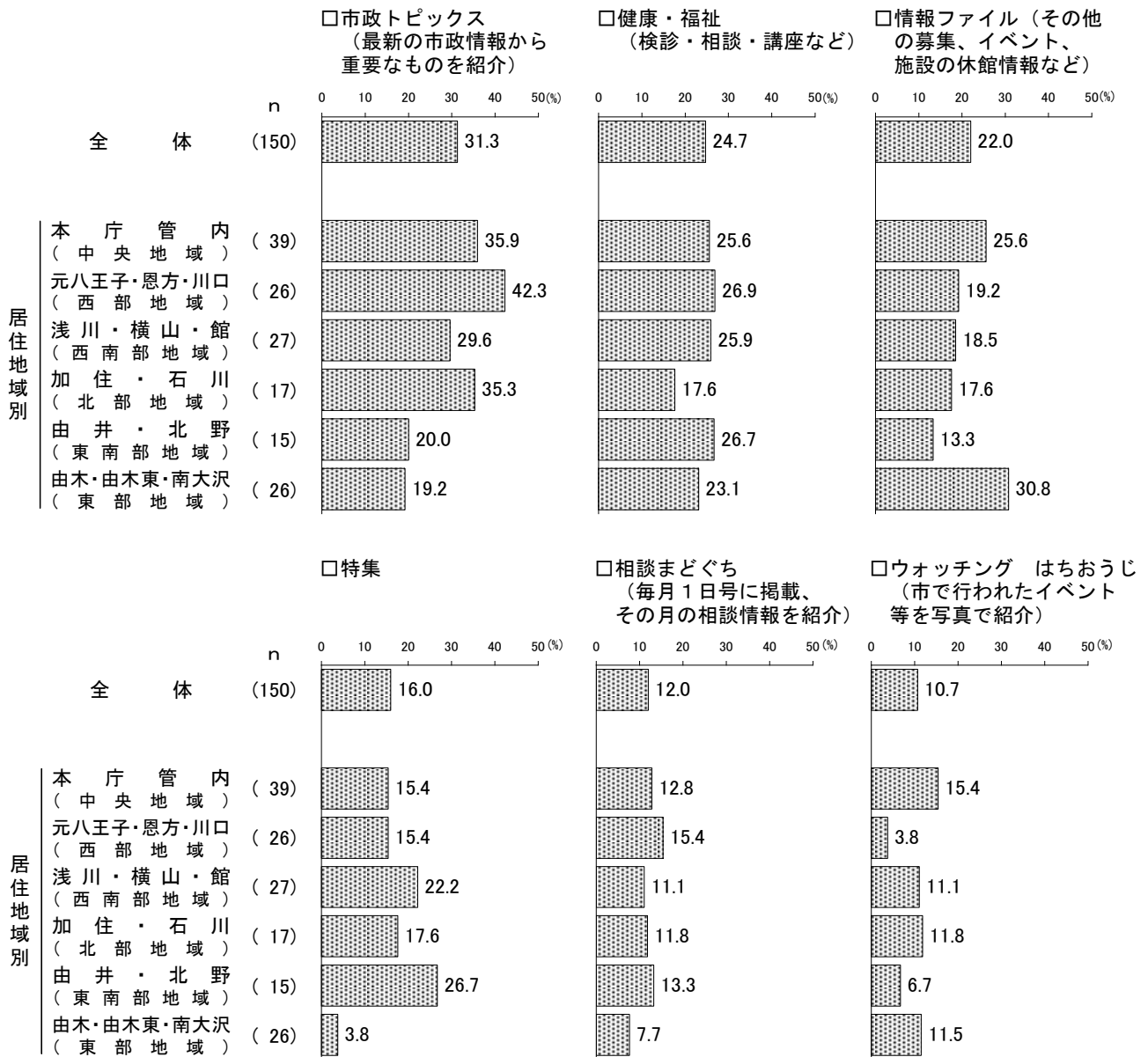
図 2-6-2 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—性別、年齢別（上位 6 位）



性別にみると、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は男性（38.6%）が女性（23.4%）より15.2ポイント高くなっている。一方、「情報ファイル（その他の募集、イベント、施設の休館情報など）」は女性（26.0%）が男性（18.6%）より7.4ポイント高くなっている。

年齢別は基数が少ないため参考に図示する。（図 2-6-2）

図 2-6-3 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—居住地域別（上位 6 位）



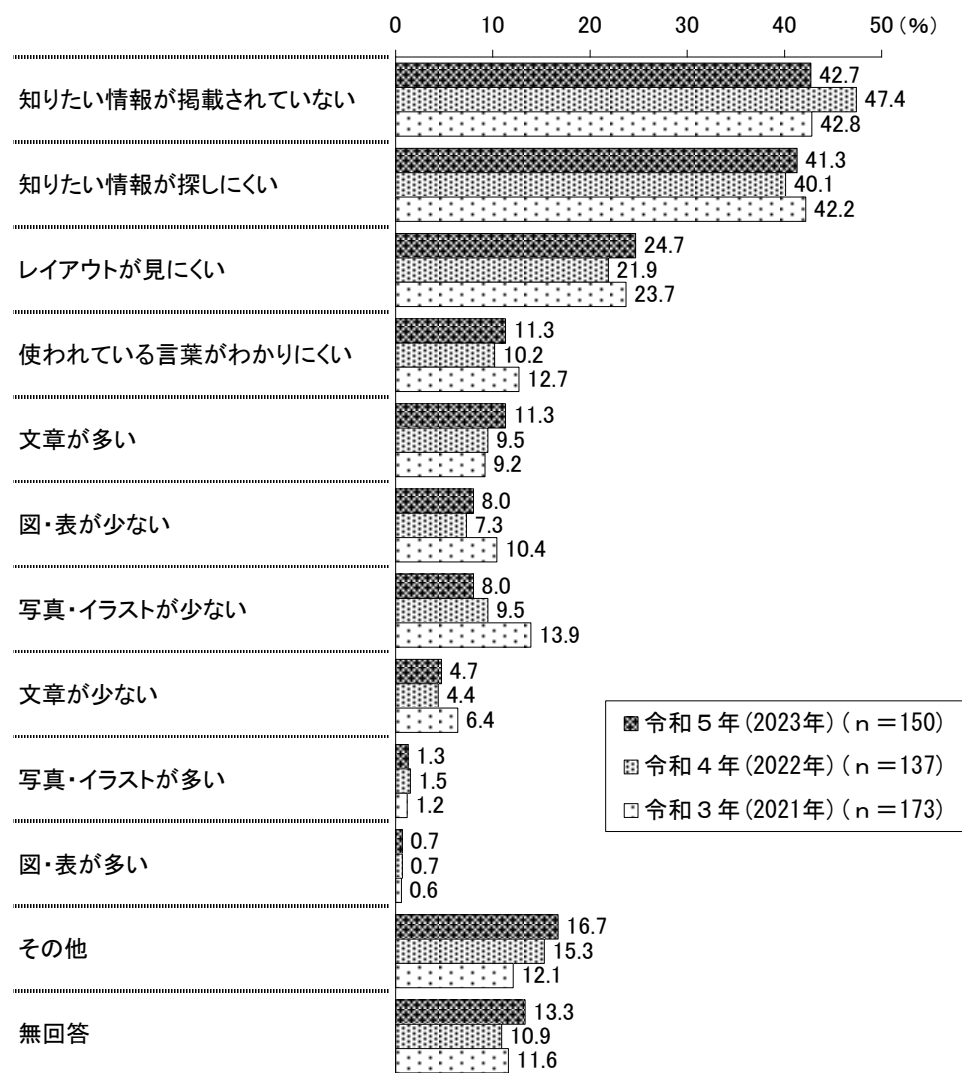
居住地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図 2-6-3)

## (7) 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由

◇ 「知りたい情報が掲載されていない」と「知りたい情報が探しにくい」がともに4割強

(問12-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)  
問12-1-2 不満であると感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

図2-7-1 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—全体、経年比較

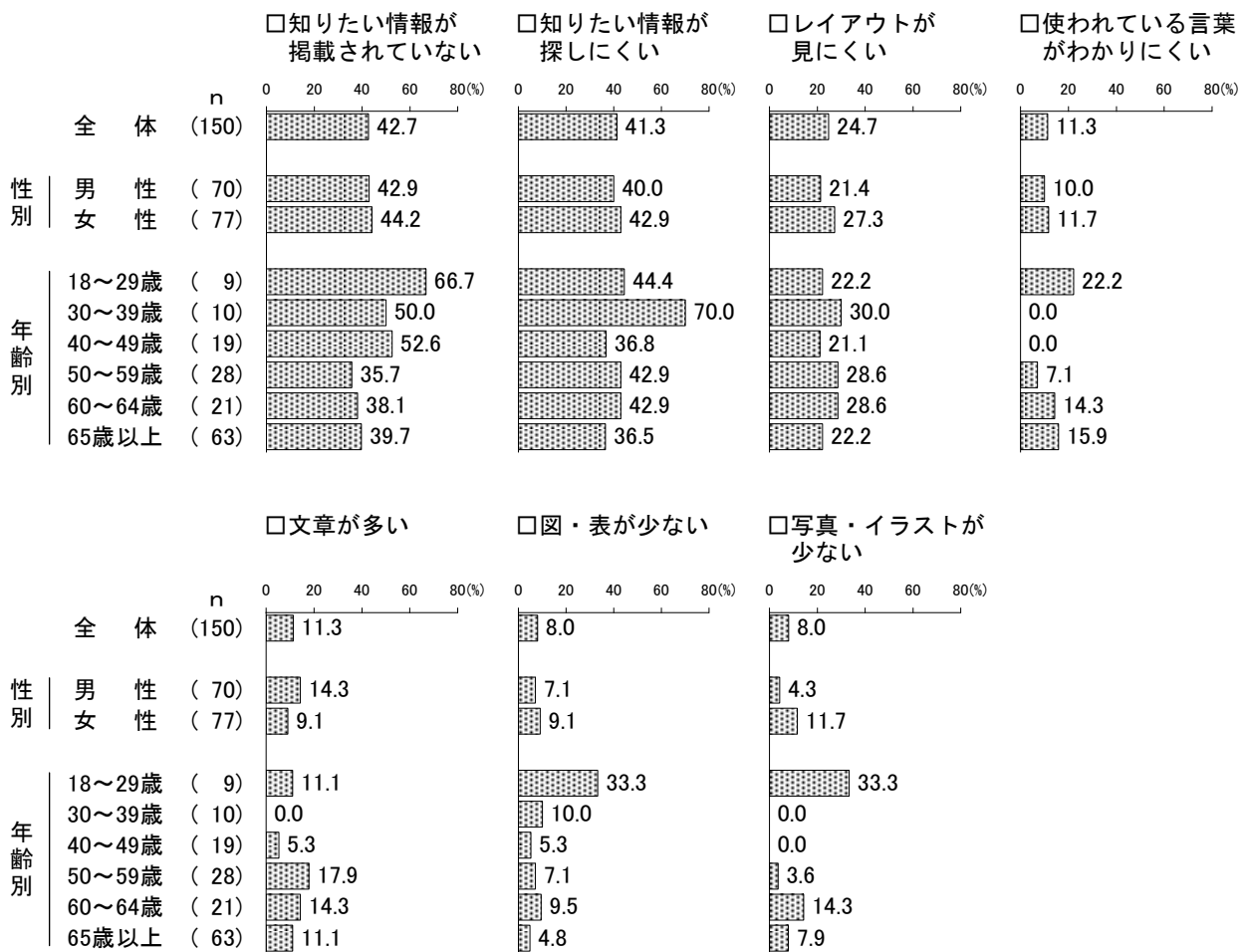


「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した150人に、不満であると感じる理由を聞いたところ、「知りたい情報が掲載されていない」(42.7%)と「知りたい情報が探しにくい」(41.3%)がともに4割強で多くなっている。次いで「レイアウトが見にくい」(24.7%)、「使われている言葉がわかりにくい」と「文章が多い」(ともに11.3%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「レイアウトが見にくい」は令和4年(2022年)(21.9%)より2.8ポイント増加している。一方、「知りたい情報が掲載されていない」は令和4年(2022年)(47.4%)より4.7ポイント減少している。(図2-7-1)



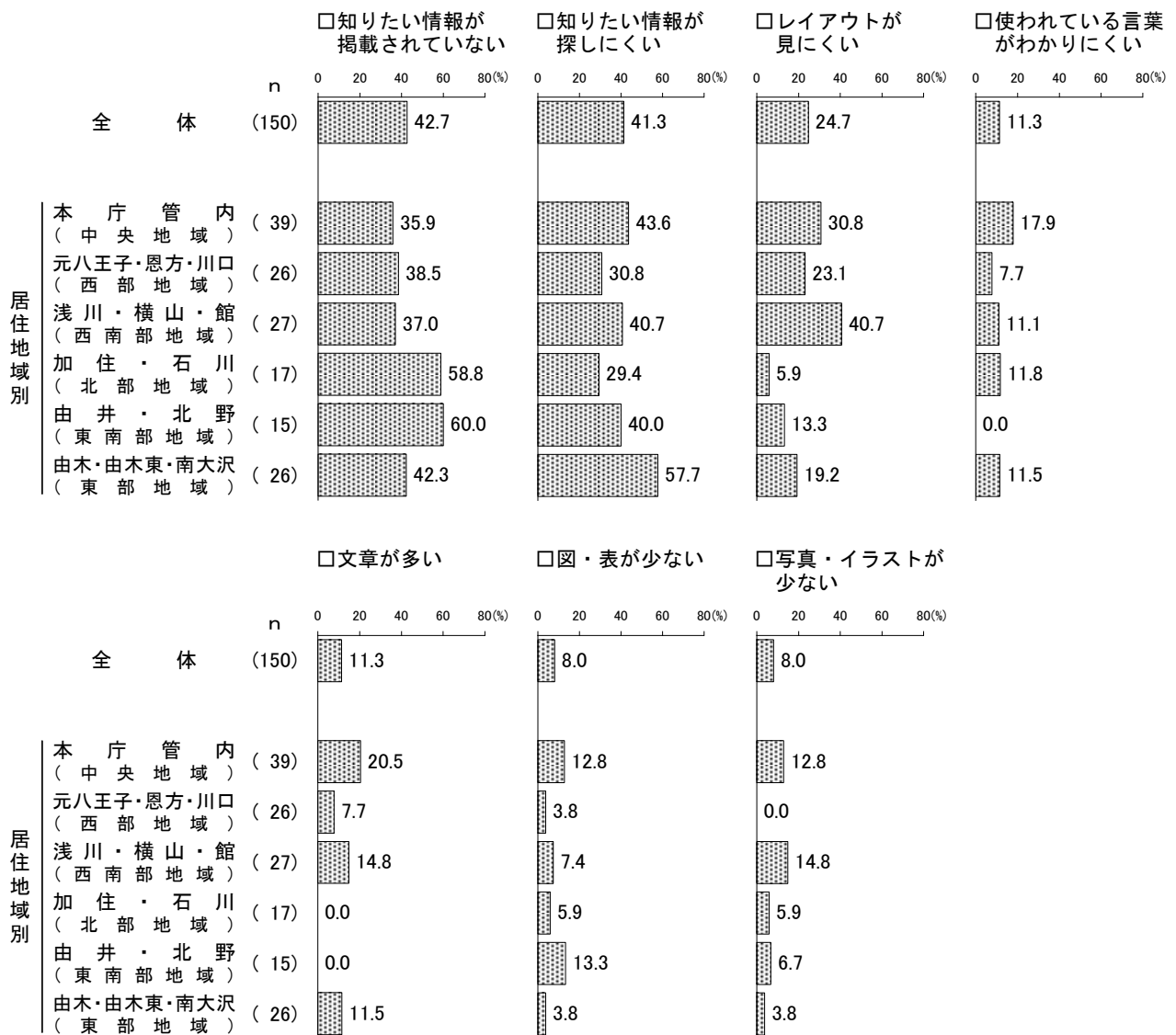
図 2-7-2 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—性別、年齢別（上位 6 位）



性別にみると、「写真・イラストが少ない」は女性（11.7%）が男性（4.3%）より7.4ポイント、「レイアウトが見にくい」は女性（27.3%）が男性（21.4%）より5.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「文章が多い」は男性（14.3%）が女性（9.1%）より5.2ポイント高くなっている。

年齢別は基数が少ないため参考に図示する。（図 2-7-2）

図2-7-3 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—居住地域別（上位6位）



居住地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図2-7-3)

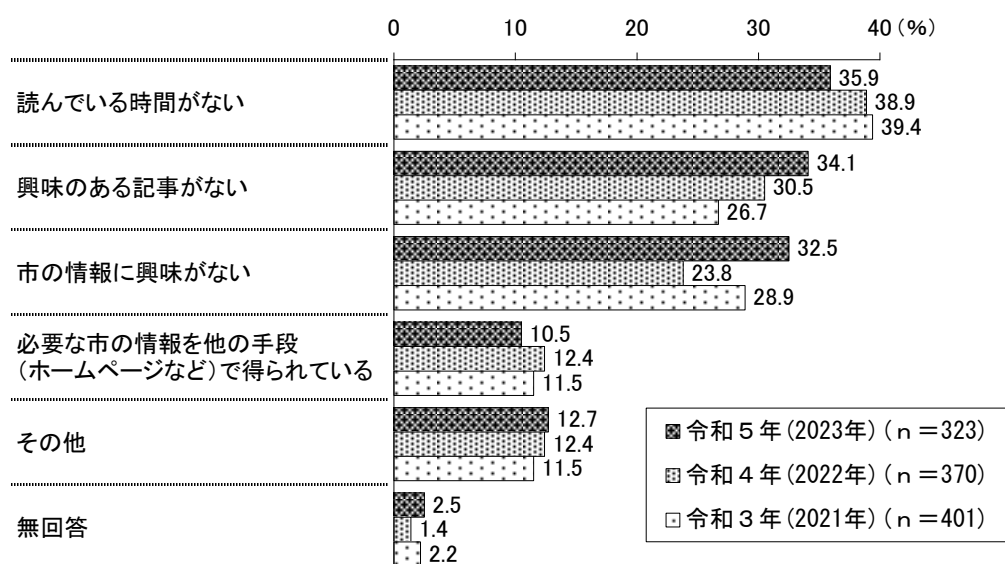
## (8) 「広報はちおうじ」を読んでいない理由

◇「読んでいる時間がない」と「興味のある記事がない」がともに3割台半ば

(問12で「読んでいない」とお答えの方へ)

問12-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

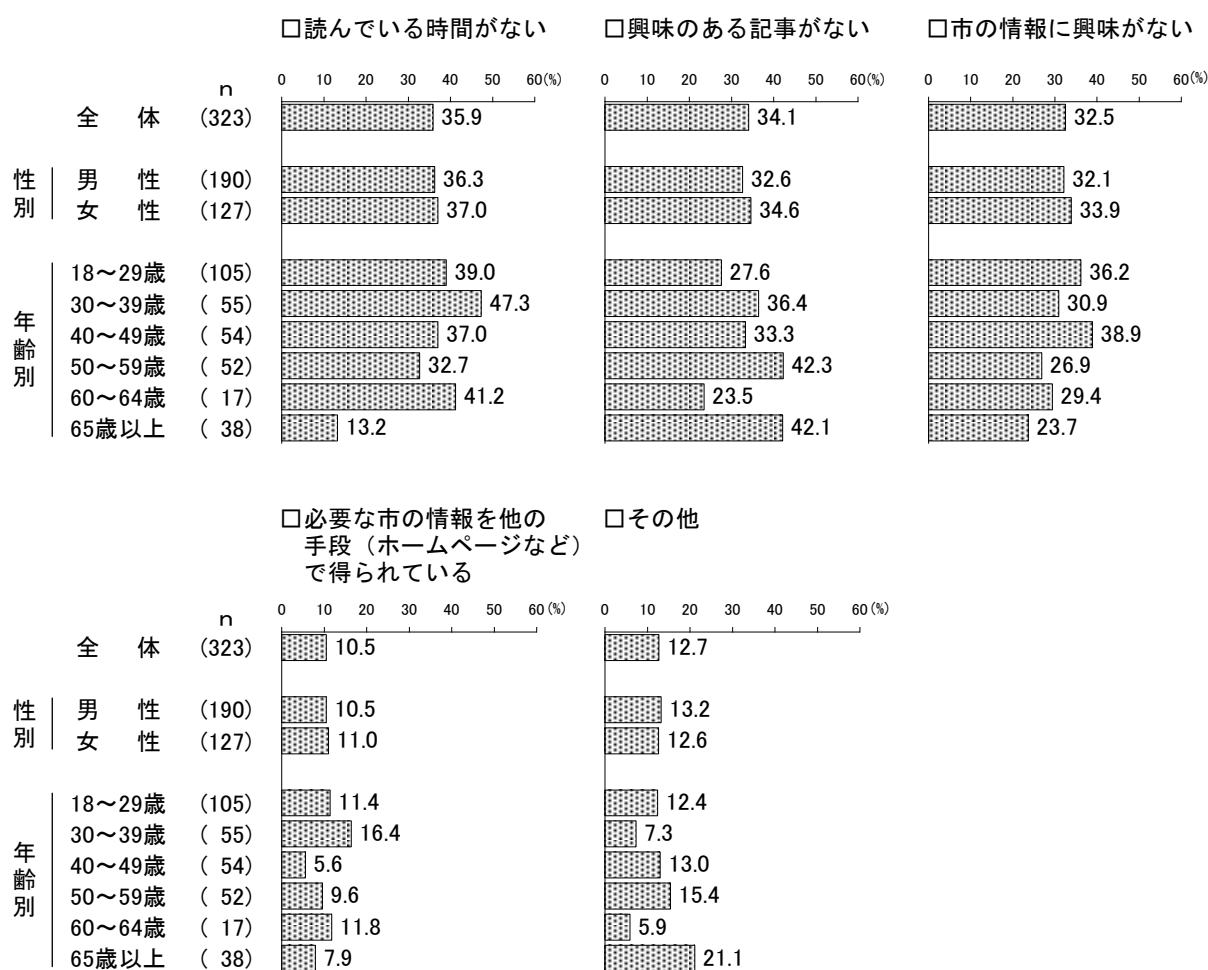
図2-8-1 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」を「読んでいない」と回答した323人に、読んでいない理由を聞いたところ、「読んでいる時間がない」(35.9%)と「興味のある記事がない」(34.1%)がともに3割台半ばで多くなっている。次いで「市の情報に興味がない」(32.5%)、「必要な市の情報を他の手段(ホームページなど)で得られている」(10.5%)の順となっている。

前回までの調査と比較すると、「市の情報に興味がない」は令和4年(2022年)(23.8%)より8.7ポイント、「興味のある記事がない」は令和4年(2022年)(30.5%)より3.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「読んでいる時間がない」は令和4年(2022年)(38.9%)より3.0ポイント減少している。(図2-8-1)

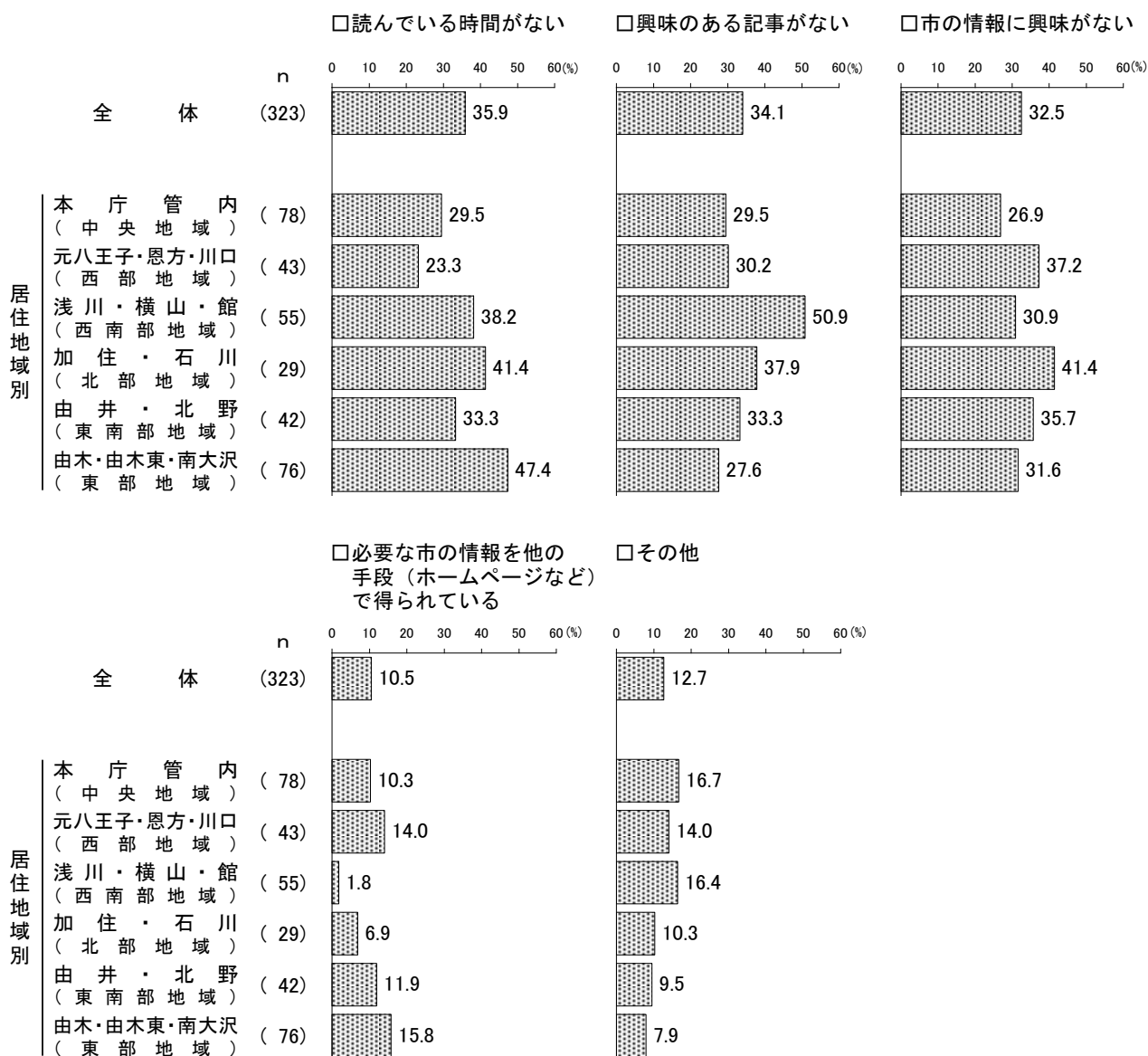
図 2-8-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—性別、年齢別



性別にみると、「興味のある記事がない」は女性（34.6%）が男性（32.6%）より2.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読んでいない時間がない」は30~39歳（47.3%）で5割近くと多くなっている。「興味のある記事がない」は50~59歳（42.3%）と65歳以上（42.1%）で4割強と多くなっている。「市の情報に興味がない」は18~29歳（36.2%）と40~49歳（38.9%）で4割近くと多くなっている。（図2-8-2）

図 2-8-3 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—居住地域別



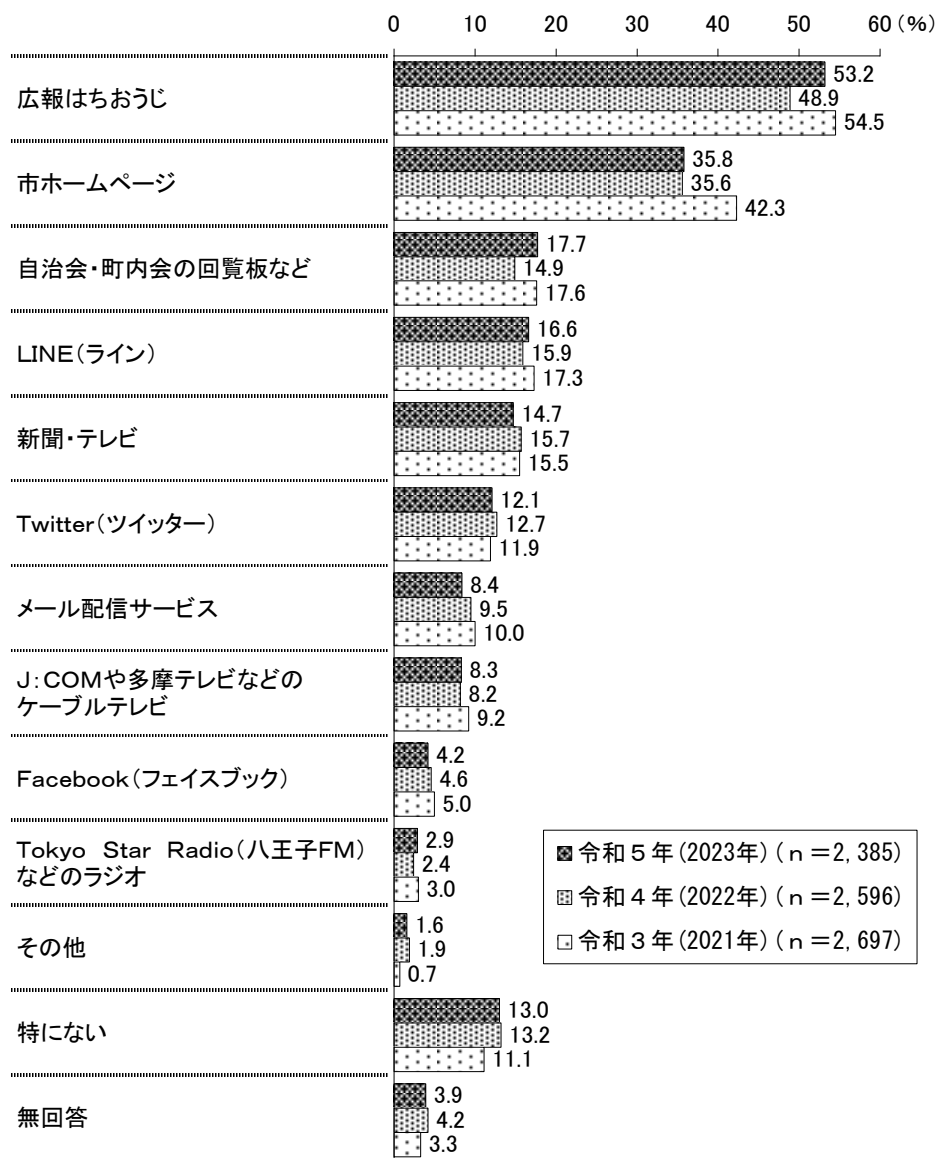
居住地域別にみると、「読んでいる時間がない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（47.4%）で5割近くと多くなっている。「興味のある記事がない」は浅川・横山・館（西南部地域）（50.9%）で約5割と多くなっている。「市の情報に興味がない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（37.2%）で4割近くと多くなっている。（図 2-8-3）

## (9) 今後充実させた方が良い広報媒体

◇「広報はちおうじ」が5割強

問13 今後、市が情報を発信する上で、さらに充実させた方が良いと思うもの、または、積極的に活用した方が良いと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

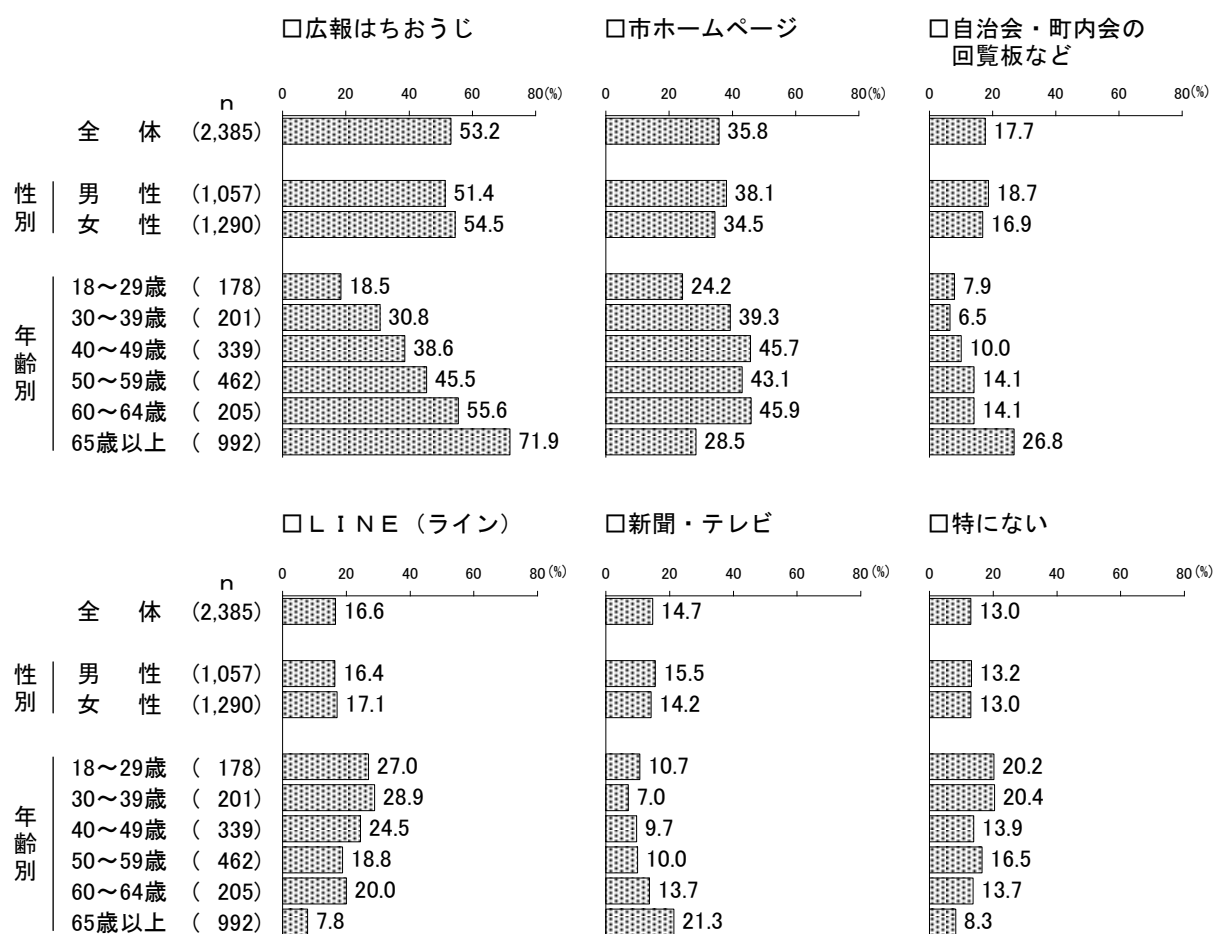
図2-9-1 今後充実させた方が良い広報媒体—全体、経年比較



今後充実させた方が良いと思う広報媒体を聞いたところ、「広報はちおうじ」(53.2%)が5割強で最も多くなっている。次いで「市ホームページ」(35.8%)、「自治会・町内会の回覧板など」(17.7%)、「LINE(ライン)」(16.6%)、「新聞・テレビ」(14.7%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「広報はちおうじ」は令和4年(2022年)(48.9%)より4.3ポイント、「自治会・町内会の回覧板など」は令和4年(2022年)(14.9%)より2.8ポイント、それぞれ増加している。(図2-9-1)

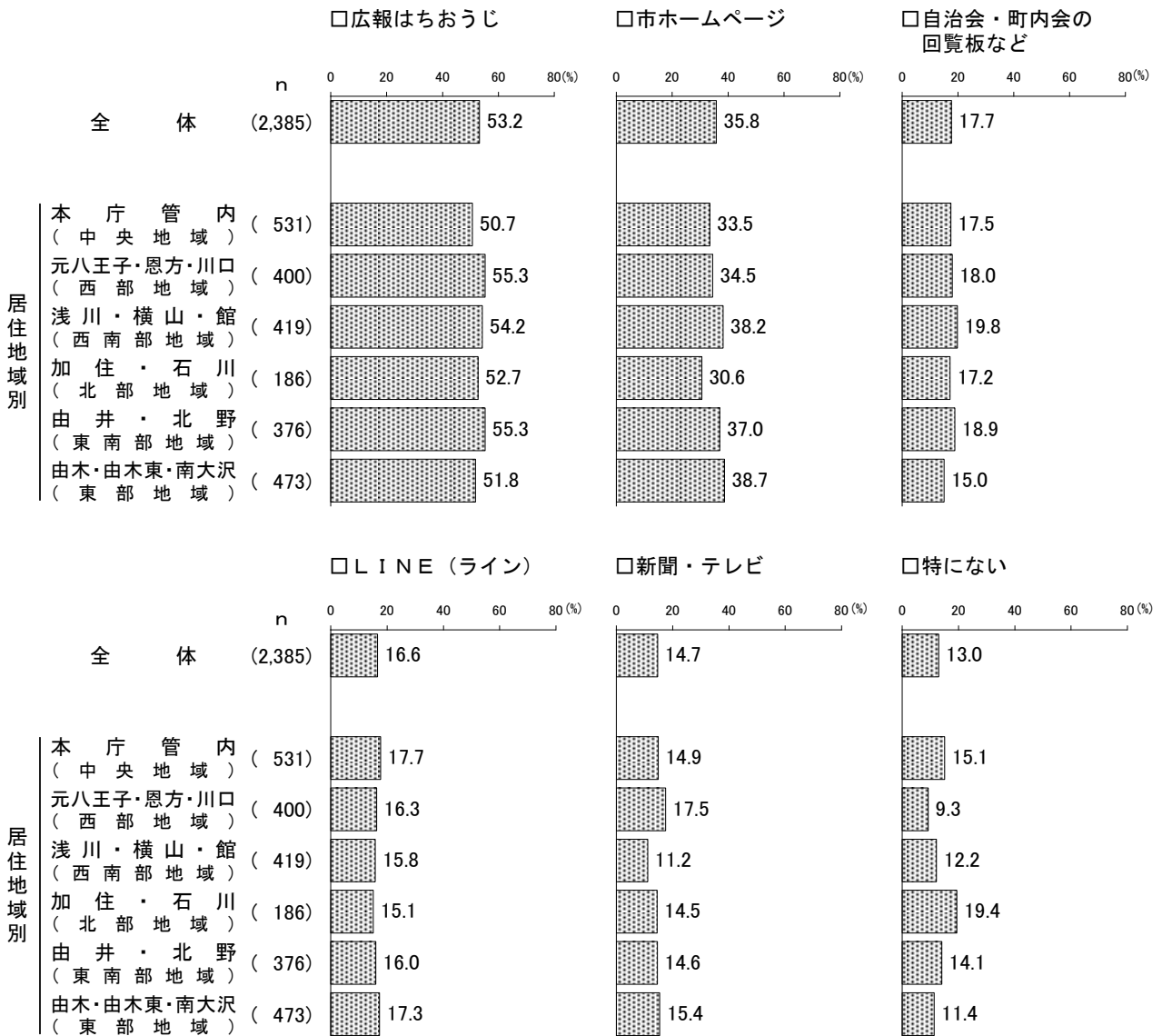
図2-9-2 今後充実させた方が良い広報媒体－性別、年齢別（上位5位＋「特にない」）



性別にみると、「市ホームページ」は男性（38.1%）が女性（34.5%）より3.6ポイント高くなっている。一方、「広報はちおうじ」は女性（54.5%）が男性（51.4%）より3.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（71.9%）で7割強と多くなっている。「市ホームページ」は40～49歳（45.7%）と60～64歳（45.9%）で4割台半ばと多くなっている。「LINE（ライン）」は18～29歳（27.0%）と30～39歳（28.9%）で3割近くと多くなっている。（図2-9-2）

図2-9-3 今後充実させた方が良い広報媒体－居住地域別（上位5位＋「特にない」）



居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（55.3%）、由井・北野（東南部地域）（55.3%）、浅川・横山・館（西南部地域）（54.2%）で5割台半ば多くなっている。「市ホームページ」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（38.7%）、浅川・横山・館（西南部地域）（38.2%）、由井・北野（東南部地域）（37.0%）で4割近くと多くなっている。

(図2-9-3)



## (10) 市の情報発信に関する意見（自由意見）

問14 市からの情報発信について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記述)

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、189人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがあ

- 「広報はちおうじ」を、もう少し読みたくなるような魅力的な表紙にしたり、冊子にしない方が手軽に読めると思います。(女性18～29歳)
- 若者向けのイベントをやっているのであれば、紙媒体だけではなく、SNS等で積極的に発信してください。(男性18～29歳)
- 最近は一王子出身の著名人が話題になっているため、こういった方々を巻き込んだ情報発信があっても良いのではないかと。(男性18～29歳)
- 「広報はちおうじ」の表紙の写真が好きです。一般の方から写真を応募させたりすると、その地域の良さが出て良いのになと感じています。(女性40～49歳)
- 市議会広報で、どの議員がどんな質問をしたか知りたい。(女性40～49歳)
- 学校を通してもっと子育て情報を発信したら伝わりやすいのではないかと思います。  
(女性40～49歳)
- 各世代への情報をバランス良くしてほしい。子育て世代、高齢世代に比重を置きすぎ。現役世代を軽視していると常を感じている。(男性40～49歳)
- ホームページが見づらい、使いづらい。必要最低限しか情報が得られない。SNSをもっと連動させて動かしていく方が良い。(男性40～49歳)
- 少子高齢化が進んでいるので紙媒体は高齢者向け、SNSなどは若者向けに割り切った方が良いと思います。(男性40～49歳)
- ネットでの情報提供は、SNSなどを手広くやって中途半端になるよりは、一つか二つぐらいのコンテンツに絞り、メンテナンスがしっかりできるよう充実させたほうが良いと思います。  
(男性40～49歳)
- 普段は広報やホームページでよいが、災害時などへの備えとしては、これを確認すれば確実に情報が得られるというものが周知されていると、助けになると思われる。(男性40～49歳)
- 発熱外来等、医療体制に関する情報を常にわかりやすく発信してほしい。(女性50～59歳)
- 高齢者はSNSでは情報が得にくいいため、広報、新聞など書面での情報発信が大切だと思う。  
(女性50～59歳)
- 行政無線の声が聞き取りにくいです。難しいかもしれませんが改善して欲しい。もし改善が難しいければ少し後でも良いので、LINEなどで「先ほどの行政無線は〇〇という内容でした。」など補足があるとありがたいです。(女性50～59歳)
- 一人暮らしの視覚障害者が安心・安全に生活できる情報（医療福祉行政手続き、防災など）を希望。広報やラジオでもっと紹介して欲しい。(女性60～64歳)
- 広報を通して市の情報を得ています。月2回の発行は適切であり、知りたい情報を得ることができ、楽しみにしています。(女性65歳以上)
- 民間イベントの情報も積極的に取り上げて欲しい。(男性65歳以上)
- 市議会の状況をホームページで発信して欲しい。(男性65歳以上)